

お知らせ

○英語の先生が替わりました

これまで子ども達に英語の学習指導をしてくださっていた 山田 佐智子 先生が、ご都合により、ご退職されました。年度途中での退職で、子ども達には大変申し訳ないとお詫言ひしております。

そして新たに9月から子ども達に 窪田 凜（くぼた りん） 先生が、これまでのALTである Tim（ティム） 先生と一緒に英語の学習を進めてくださいます。みんなで楽しく英語をの学んでいきましょうね。



○山口短期大学からの学校体験実習

来週の7日（月）から11日（金）までの5日間、山口短期大学博多キャンパスで教職を目指して学んでいる学生さん6名が、学校の教育活動を観察する体験実習のために本校に来る予定です。7日（月）・9日（水）・11日（金）は1年生、8日（火）は5年生、10日（木）は3年生、のそれぞれの教室を中心に実習を行います。大学生の皆さんには、本校の教育活動を通して学校教育の在り方を学んでいただくとともに、本校の子ども達にとってもいいふれ合いの機会になってもらえればと思います。



○夏休み作品展（多目的ホール）

子ども達が夏休みに制作した絵画や工作、自由研究等の作品を多目的ホールの後方に展示しています。子ども達がお互いの作品を鑑賞し、その努力や発想のすばらしさ、作品の緻密さ等に心を動かしながら、ともに、保護者の皆様にも、お迎え等の際にご鑑賞いただければ幸いです。尚、夏休みの作品については、全教職員で審査をし、各学年毎に金・銀・銅賞を決定する予定です。

夏休み作品展の期間は、本日9月2日（火）から10日（木）までになっています。

感じたことから

○「苦しさ」に共感し、手を差し伸べる

大変暑い夏休みでしたが、いかがお過ごしでしたでしょうか？

そして、この夏休みの期間に熊本の地震、さらには千葉を中心とした関東地区での大雨、最近では石川や富山、福井、そして青森で線状降水帯が発生しました。また、海外ではネパールや中国での土石流等があり、被災地は大変な状況だと思ひます。ひょっとすれば、保護者の皆様の中に、ご親戚やお知り合い等、関係の方がいらっしゃるかもしれません。少しでも早い復興を願っています。

さて、昨日の全校朝会でお話させてもらったことですが、こうした災害のニュースを知る度に思ひがちなのが、『自分は被害にあわなくてよかった』ということです。しかし、自分が変わらない日常を過ごしている今でも、被災地の方々は苦しい生活を強いられているのです。遠く離れた地域であってもその辛さを想像し、思ひを膨らませることも大切ではないかと思ひます。

そうした状況の中、被災地に出向いて支援をされるボランティアの方々、募金活動をされるの方々等、様々な支援をされていらっしゃる方がいます。こうした方々は、

被災地の困難な状況 → **被災地の方々の苦しみ** ⇨ **その苦しみへの共感** → **できる支援**

被災地の方々

支援する方々

という他者の苦しみを感じ取り、少しでも苦しみを和らげたいという思ひから支援をされていらっしゃると思ひます。

さて、人の心に宿る不安や苦しみですが、防ぎようのない地震や大雨といった自然災害ばかりでなく、時には、人と人との関係の中で不安や苦しみが生じる場合があります。

例えば、学級の中で周りをよく見渡してみると、“一人ぼっちになって心が暗くなっている人”や“何らかの理由で嫌な思ひをしている人”がいるかもしれません。そんな時に、『私が一人ぼっちにならなくてよかった』『嫌な思ひをしなくてよかった』という気持ちが生じるのもよくわかります。しかし、そればかりでなく、当事者の苦しみ感じ取り（共感）、何らかの行動（支援）をとってみることで、苦しい思ひをしているお友だちの心を少しでも晴れやかにすることができるとは思ひませんか？

子ども達には、学級の中でこうした支え（支援）を欲している友達がいないかどうかよく観察して、「苦しさへの共感→行動（支援）」に向かうことができることを願っています。